

(要領様式第5号)

研修カリキュラム

年度	令和7年度 神奈川県保育エキスパート等研修
分野	障害児保育
実施機関	一般社団法人保育のデザインアドバンス

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	障害の理解 (障害とその支援に関する理解)	国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 久保山 茂樹	障害とはなにか。共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、特別支援教育について、丁寧に解説している。自園の子どもたちを、共生社会の担い手として育むために、保育者は何をなすべきか、ワークを通して具体的に考える。	講義＋演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間09分	15時間23分	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名
2	障害の理解障害児保育の環境 (気になる子どもの視点から保育を見直す)	国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 久保山 茂樹	気になる子どもへの特別な支援は、一見専門的で難しいのではないかと感じさせる。しかし、一人ひとりの子どもに合ったかわり方を考えていくことは、保育そのもの。具体的な事例を通して、様々なニーズのある子どもへの理解を深めると共に、全ての子どもに対する保育の在り方を見直し、考えるきっかけとなる講座。	講義＋演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	3時間14分		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名
3	障害児の発達の援助	八戸学院大学短期大学部 教授 差波 直樹	特別な支援を必要とするお子さんの保育や、保護者との接し方等について、保育者であった講師の体験を事例にあげ、丁寧に解説している。	講義＋演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間52分		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名
4	障害児保育の指導計画、記録及び評価	仙台白百合女子大学 教授 三浦 主博	障害や発達上の課題のある子どもが、他の子ども達と共に育っていくための指導計画の立案から実践、評価までの流れや留意するポイント等を学ぶ。	講義＋演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間33分		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名
5	家庭及び関係機関との連携1 (気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働)	国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 久保山 茂樹	保育者は、施設での子どもの状態を話したい。保護者は自分のおもいを話したい。故に、両者の間で、ずれが生じることも多い。保護者の手記や事例を通して、「気になる子どもの保護者のおもいや歴史」を踏まえた保護者支援や協働について考える。	講義＋演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間38分		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名
6	家庭及び関係機関との連携2 (関係機関との連携)	玉川大学・玉川大学大学院 教授 若月 芳浩	障害のある子どもが他の子どもたちと共に育っていくためには、保育者のインクルーシブなマインドと保護者・専門機関との連携が重要であることを学び、ワークを通し、自園の課題を明確にし、その解決の手立てを探っていく。	講義＋演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	1時間04分		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名
7	インクルーシブな保育 (障害の理解)	玉川大学・玉川大学大学院 教授 若月 芳浩	インクルーシブな保育の基本や実践していく際の配慮等について、講師が園長を務める園の話も織り交ぜながら解説している。保育における合理的な配慮や、日常の保育と行事の関係性等を学び、インクルーシブな保育は子ども主体の保育に通じることを理解する。	講義(eラーニング)+ミニテスト+報告書	0時間57分		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月8日	パソコン スマートフォン タブレット	1500名

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～7すべての研修を受講する必要があります。